

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- ・『自ら考え つなげ 深める』授業の実現
- ・『相手を思いやれる』子どもの育成
- ・『3にもを大切にする』子どもの育成

【未然防止】*ピア・サポートを3指導部で運営する。

- <研究推進部>
 - ・『子どもの本気を引き出す授業づくり』
 - ・授業を通して、「居場所」と「つけたい力」を子どもが育んでいく。
 - <生徒指導部・特別支援部>
 - ・『相手を思いやれる』子どもを育成する。
 - ・生活指導・特別支援教育指導を通して、生活のきまりを守り、正しく判断する子を育てる。
 - <特別活動部>
 - ・『本気でがんばれる』子どもの育成。
 - ・特別活動を通して、『3にも（自分にも相手にもみんなにもよいことを考えよう！）』を実践する子を育てる。
- 昨年度の取り組みの評価—
- ・思いやり、助け合うことができる（児童）89%
 - 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期発見】

- ・『校内アンケート（学期1回）』を活用する。
 - ・日常の『音読カード』『日記』『連絡帳』等に書かれた子どもと保護者の声を受けとめる。
 - ・子どもの『表情』『しぐさ』『行動』等から『なぜ、そうなのか（原因）』を考え、見つめる。
 - ・生徒理解研修（子どもを語る会）の実施を通して全職員で子どもの情報を共有する。
- 昨年度の取り組みの評価—
- ・相談できる友達や先生がいる（児童）88%
 - 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期対応】

- ・『今日の出来事カード』を活用する。
記入者→生徒指導主任→校長→教頭→教務主任→事務室→学校担任→養護教諭→生徒指導主任
 - ・ケース会議を設定する。
 - ・関係機関との連携を進める。
- 昨年度の取り組みの評価—
- ・安心安全な学校づくりに努めている（保護者）90%
 - ・安心安全な学校づくりに努めている（教員）100%
 - 本年度も90%達成（保護者）を目標として継続して取り組む

【PTAや地域との連携】

- ・学校だより・学年だよりを発行する。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- ・各学級での『3にも』掲示板を活用する。
- ・学級活動、朝・帰りの会を充実したものにする。

【いじめ対策委員会】

- 委員
- 校長・教頭・教務主任・
 - 養護教諭・生徒指導主任・
 - 特別支援教育コーディネーター・
 - 該当学年部・SC・PTA会長

【職員研修・指導体制】

- ・生徒指導研修会
(担任の悩みを全校職員が共有し改善策を構築する。)
- ・SCを講師とした生徒指導研修会
(いじめ早期発見に向けた研修を積み重ねる。)

【関係機関との連携】

- ・SC
- ・SSW